

## 第3回山ノ内町立小学校統合準備委員会 次第

日時 令和5年2月10日(金)

午後6時00分～

場所 文化センター ホール

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 報告事項

- ・第2回委員会ワークショップについて

資料1

### 4 会議事項

- ・山ノ内町立統合小学校整備計画(素案)について

資料2

### 5 グループ別ワークショップ

#### (1) ワークショップ

テーマ「重点となる教育・小中連携の考え方について」

#### (2) グループからの発表

#### (3) 全体のまとめ(原委員長)

### 6 その他

- ・次回日程

### 7 閉 会

統合準備委員名簿及びグループ分け表

| 職名   | 所属等                    | 氏名     | グループ | 区分          |
|------|------------------------|--------|------|-------------|
| 委員長  | 元小学校長                  | 原 隆文   | 全体   | (5)学識経験者    |
| 副委員長 | 町子ども会育成会連絡協議会長         | 金井 哲也  | 欠    | (1)小学校保護者代表 |
| 委員   | 東小学校PTA会長              | 田中 浩幸  | A    | (1)小学校保護者代表 |
| 委員   | 南小学校PTA会長              | 宮崎 秋之  | B    | (1)小学校保護者代表 |
| 委員   | 西小学校PTA会長              | 畔上 元弘  | C    | (1)小学校保護者代表 |
| 委員   | 山ノ内中学校PTA会長            | 山本 佳史  | C    | (1)中学校保護者代表 |
| 委員   | 志賀高原保育園保護者会長           | 西沢 寛樹  | 欠    | (2)保育園保護者代表 |
| 委員   | かえで保育園保護者会長            | 児玉 友香  | 欠    | (2)保育園保護者代表 |
| 委員   | ほなみ保育園保護者会長            | 山本 典敬  | C    | (2)保育園保護者代表 |
| 委員   | よませ保育園保護者会長            | 関 知里   | B    | (2)保育園保護者代表 |
| 委員   | すがかわ保育園保護者会長           | 下田 愛実  | 欠    | (2)保育園保護者代表 |
| 委員   | 東小学校長                  | 湯本 文洋  | B    | (3)小学校教職員   |
| 委員   | 南小学校長                  | 原 幸子   | A    | (3)小学校教職員   |
| 委員   | 西小学校長                  | 齋藤 義和  | C    | (3)小学校教職員   |
| 委員   | 山ノ内中学校長                | 山口 近   | B    | (3)中学校教職員   |
| 委員   | 区長会会長 (湯田中区長)          | 宮崎 幸雄  | A    | (4)地域住民代表   |
| 委員   | 区長会副会長 (戸狩区長)          | 北原 公治  | B    | (4)地域住民代表   |
| 委員   | 区長会副会長 (前坂区長)          | 湯本 憲市  | C    | (4)地域住民代表   |
| 委員   | 区長会副会長 (須賀川区長)         | 保坂 克芳  | 欠    | (4)地域住民代表   |
| 委員   | コミュニティスクール<br>コーディネーター | 小河原 康貴 | A    | (4)地域住民代表   |
| 委員   | 主任児童委員                 | 佐藤 重子  | A    | (5)学識経験者    |

|       |        |           |       |
|-------|--------|-----------|-------|
| ○教育委員 |        | ○教育委員会事務局 |       |
| 教育長   | 柴草 隆   | 教育次長      | 小林 元広 |
| 職務代理  | 岩本 繁樹  | 学校教育係長    | 森川 昌俊 |
| 委員    | 堀米 ひろみ | 教育指導主事    | 小林 妙子 |
| 委員    | 黒岩 博之  | 学校教育係     | 畔上 俊樹 |
| 委員    | 山本 均   | 学校教育係     | 田中 稜平 |

## 第 2 回統合準備委員会 グループ別ワークショップでのご意見

テーマ① どのような子どもたちを育てたいか（目指す子どもの姿）

R5.1.25(水)

| 基本構想（案）   | 主体性 課題をみつけられる子                            |   |
|---|---|---|
| <p>(1) 主体的に学び、学ぶ楽しさを<br/>実感できる子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然や人から学ぶ体験活動を重視</li> <li>自分で考え、自分で判断し、行動できる力の育成</li> <li>さまざまな人とともに学ぶ楽しさを味わえる学習活動</li> </ul>      | 課題を見つけ解決していくことができる子                       | 課題解決<br>自ら<br>主体性<br>学ぶ楽しさ                      |
|   | 自ら課題や問いを持ち、それを自ら解決しようと主体的に行動する子ども         |   |
|   | 問題を自分でみつけていく子（受け身ではなく、何か自分でつかまえていく）       |   |
|   | 自分の考えをまとめ、行動できる、主体性のある子ども                 |   |
|   | 自分で考える人 疑問を持てる子（なんで？）（ほんとうに？）             |   |
|   | 自ら楽しむことを考えられる子 自分の好きなことをひとつ探せる            |   |
|   | 自ら学ぶ楽しさがわかる子                              |   |
|   | 動いて考える子 五感を通して、自分で情報を                     |   |
|   | 友だちとかかわりながら学べる子                           |   |
|   | 地域自慢 ふるさと・自然を大切にする子                       |   |
| <p>(2) 広い視野を持ち、行動する子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域を学ぶ、地域から学ぶ「ふるさと教育」「環境教育」</li> <li>ユネスコスクールの登録 持続可能な社会の担い手に</li> <li>世界を見つめる視野と考え方を学び、身近から行動できる力の育成</li> </ul> | 地域文化の体験により、地域をよく知り、山ノ内町を大切に思える心を持つ子       | 地域自慢<br>山ノ内町の歴史、文化、自然<br>体験活動<br>感受性豊かな<br>町の未来 |
|   | 山ノ内町の歴史、文化、自然観光に誇りや愛着を持ち、それを自分以外にもつなげられる子 |   |
|   | 豊かな自然を愛し、自然を活かした課外授業や体験活動から学ぶ感受性豊かな子      |   |
|   | 身近にある自然を思い切り楽しむ子                          |   |
|   | ふるさと山ノ内の良さをわかり、山ノ内町の未来にかかわっていける子ども        |   |
|   | 郷土愛のある子ども                                 |   |
|   | グローバルな社会に対応できる子                           |   |
|   | 外国の人と話ができる子                               |   |

テーマ① どのような子どもたちを育てたいか（目指す子どもの姿）

| 基本構想（案）  | 多様性を認め合う、人とのつながり（交流）                  |                                    |             |
|--|---------------------------------------|------------------------------------|-------------|
| <p>(3) かかわりを深め、豊かな心を持つ子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な他者とつながり、認めあう学習活動</li> <li>自分を大切にし、他者を大切にできる心の育成</li> </ul>           | 多様性を認め、コミュニケーションがとれる子                 | 多様性<br>認め合い<br>支え合い<br>コミュニケーション   |             |
|  | へだたりを持たない子 個性・違いを認め合って受け入れ、支え合っている子ども |                                    |             |
|  | コミュニケーション力のある、社会性を育む                  |                                    |             |
|  | 地域、観光客との交流 国際的な交流                     |                                    |             |
|  | （学校、地域）みんなに挨拶ができる子                    |                                    |             |
|  | つながりを大切にする子                           |                                    |             |
|  | 共に助け合い、みんなで一つの事を達成できるような教育を           |                                    |             |
|  | 違いを否定しない やさしい子                        |                                    |             |
|  | 友だちとかかわりながら学べる子                       |                                    |             |
|  | 豊かな心、表現できる子                           |                                    |             |
|  |                                       | 個性豊かな力                             | 思いやり<br>表現力 |
|  |                                       | 良い事、悪い事、やってもいい事、いけない事をちゃんと理解できる子ども |             |
| 友達を思いやり、大切にできる豊かな心を育む  |                                       |                                    |             |
| 自分を大切にしながら、相手を思いやる、大切にできる子   |                                       |                                    |             |
| 自分の考えを持ち、自分から思いを表現できる子   |                                       |                                    |             |
| 外国の人と話ができる子  |                                       |                                    |             |
|  | 体験活動                                  |                                    |             |
| <p>(4) たくましく、夢に向かって進んでいく子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の良さを知り、それを活かせる場で自立する力の育成</li> <li>心身の健やかな成長のためのスポーツや体験活動</li> </ul> | たくましい子（失敗を糧にできるように）                   | たくましい                              |             |
|  | 思い切り遊べる子 はまりこめる子                      |                                    |             |
|  |                                       |                                    |             |
|  |                                       |                                    |             |
|  |                                       |                                    |             |

第2回統合準備委員会 グループ別ワークショップでのご意見

テーマ② どのような学校にしたいか（目指す学校像）

R5.1.25(水)

|                            |  |                              |
|----------------------------|--|------------------------------|
| 基本構想（案）                    | 居場所がある学校 行きたい学校 楽しい学校                  |                              |
| (1) 一人一人に居場所がある安心・安心・安全な学校 | 楽しく過ごす場所 学校に行くのが毎日楽しいと思える学校            | 楽しい<br>居場所<br>行きたい           |
|                            | 先生と児童が語り合える学校                          |                              |
|                            | ひとりひとりの子どもの良さ、可能性を広げられる学校              |                              |
|                            | 一人一人の個性を尊重した学校                         |                              |
|                            | ひとりひとりに居場所がある学校                        |                              |
|                            | 学校に行くのを毎日楽しみにできる 毎日行きたいと思える学校（ひとつでもいい） |                              |
|                            | 安心・安全な学校                               |                              |
|                            | 宿題がない学校                                |                              |
|                            | 幅広い交流が生まれる学校 開かれた学校                    |                              |
| (2) 豊かな学習・体験活動・交流が生まれる学校   | やりたいことができる（チャレンジ）やるべきことをやる（責任）充実感・達成感  | 充実感<br>達成感<br>小中一貫<br><br>交流 |
|                            | クラスや学年を超えた縦割りの交流が多い学校                  |                              |
|                            | 小中一貫教育 目標を立て、9年間のスケールメリットを出す           |                              |
|                            | ICT教育の推進                               |                              |
|                            | 個人の学び、グループの学びに集中できる学校                  |                              |
|                            | 宿題がない学校                                |                              |
|                            | 地域の方や観光客の方と交流できる学校                     |                              |
|                            | 町内の様々な地区、他の市町村との交流ができる学校               |                              |
|                            | 多くの方が出入りできる、交流できる学校                    |                              |

テーマ② どのような学校にしたいか（目指す学校像）

| 基本構想（案）        | 地域の愛着心を育てる学校 地域の特色を生かして学ぶ学校              |             |
|----------------|--|-------------|
| (3) 地域とともにある学校 | コミュニティスクール                               | 山ノ内町の<br>特色 |
|                | 地域とのかかわりを大切にできる空間と創造                     |             |
|                | 地域の愛着心を育てる学校 東西南北各地域の特徴や歴史などを学ぶ機会が多くあること |             |
|                | 山ノ内町の発達・維持につながる学校                        |             |
|                | 山ノ内町の人・もの・こととつないだ教育                      |             |
|                | 東西南北 それぞれの色を感じあえる学校                      |             |
|                | 豊かな自然体験ができる学校 春夏秋冬多様に楽しめる学校              |             |
|                | 山ノ内町の自然や歴史、文化を生かした学びのある学校                |             |
|                | 特色（ESD、ふるさと、自然、志賀高原など）を前面に出して学習する学校      |             |
|                | 地域の文化や歴史を体験して、発信できる学校                    |             |

## <資料>義務教育学校・小中一貫校について

### 義務教育学校

- 学校教育法改正により  
2016年に新設された学校教育制度
- 一人の校長、一つの教職員組織  
(副校長 小中免許所有の教員)
  - 9年間の学校教育目標を設定
  - 系統性を確保した教育課程

(信濃小中、美麻小中、根羽学園、檜川小中)

### 小中一貫校

- 独立した小学校・中学校が一貫した教育を行う形態
- それぞれの学校に校長、教職員組織
  - ※施設一体型…同一の校舎内で
  - ※施設隣接型…隣接する小学校、中学校で一貫した教育
  - ※施設分離型…離れた場所にある小学校、中学校で一貫した教育を行う

### メリット

- 柔軟な学年段階の区切りを設定
  - ・4 - 3 - 2      ・5 - 4      など
- 交流の促進
  - ・合同行事      ・児童会生徒会活動の協働
  - ・学習成果の発表会
  - ・部活動への段階的な参加      など
- 異年齢集団での育ち
  - ・中学生へのあこがれ、目標
  - ・下級生への思いやり
  - ・社会性の育成
- 教育課程上の特例実施
  - ・新教科等の創設
  - ・学年間での指導内容の入れ替え、前倒し
- 中学入学への不安軽減  
(中1ギャップ解消)
  - ・小学校での教科担任制      ・乗り入れ指導
  - ・多くの教職員による指導

- 目標や重点の共有による一貫指導
  - ・学校目標、特色ある教育活動の統一
  - ・一貫した指導方法に基づいた指導
- 専門性を活かした指導
  - ・部分教科担任制      ・小中乗り入れ授業
- 研修や研究の充実
  - ・合同研究や合同研修
  - ・9年間を見通した指導の充実
  - ・教材研究の深まりや指導技術の向上      など
- 児童生徒理解
  - ・児童生徒の学習状況や特性などの共有による継続的指導・支援

### デメリット

- 人間関係の固定化
  - ・トラブルの影響が長引く恐れ
  - ・新たな人間関係を築くストレス耐性の低下
- リーダーシップ、自主性を養う機会の減少
  - ・児童会、行事などで5・6年生の活躍機会が減少
  - ・小学校の卒業式(区切り)なし
- 共有施設・スペース利用の制限
  - ・特別教室、校庭等の利用頻度が減少する可能性あり
- 転出入児童生徒への個別対応必要
  - ・指導内容の特例に合わせる対応

- 9年間の教育課程編成に時間が必要
  - ・小学校、中学校それぞれの教育課程理解
  - ・目標や重点の設定
  - ・特色ある教育課程についての理解
- 学校施設利用のスケジュール調整が困難
  - ・運動会前の練習(校庭使用の特別時間割)
  - ・共有教室の使用時間割      など
- 小中学校の免許所有が原則  
(義務教育学校)
- 校長の職務過重
- 教職員の負担感